

第24回 京都五花街合同公演

都の賑い

会場

京都芸術劇場 春秋座
京都市左京区北白川瓜生山2-116
京都造形芸術大学内

※写真は昨年の公演です。

開催日

6月 24日(土)
25日(日)

時間

午前の部(11時00分〜)
午後の部(14時30分〜)

料金

特等席 13,000円
1等席 8,000円
2等席 6,000円

※学生は当日午前の部のみ特等席9,000円(若干名)

芸妓舞妓、総勢約80名が集う 絢爛豪華な京の初夏



祇園東



祇園甲部



宮川町



上七軒



先斗町

1. 祇園東 清元「花がたみ」
2. 上七軒 長唄「俄獅子」
3. 先斗町 長唄「晒女」
4. 祇園甲部 清元「梅の春」
5. 宮川町 清元「六玉川」
6. 舞妓の賑い 「京小唄」
7. フィナーレ 「祇園小唄」



チケット販売

3/21(火)〜

チケット販売場所

おおきに財団(075-561-3901 <http://www.ookinizaidan.com/>)
京都総合観光案内所、京都芸術劇場チケットセンター、京都館、歌舞伎座、新橋演舞場、大阪松竹座
チケットぴあ(Pコード 457-219)、ローソン(Lコード 57640)
e+(イープラス/ファミリーマート店内[Famiポート])、チケットWeb松竹

五花街の夕べ

~五花街の芸舞妓がお届けする至高のおもてなし~

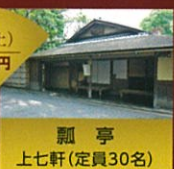
華やかな舞台を観劇した後は、京都が誇る有名料亭、旅館、ホテル自慢の料理を召し上がりながら、芸妓舞妓による極上のおもてなしをぜひご堪能ください。

6/24(土)・25(日) 18時30分~20時30分

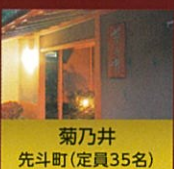
※下記花街の名称は、料亭で舞やおもてなしをさせて頂く花街名を記しております。



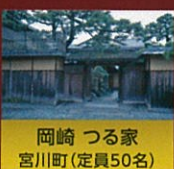
24(土)
38,000円



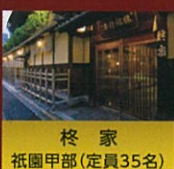
瓢亭
上七軒(定員30名)



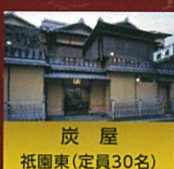
菊乃井
先斗町(定員35名)



岡崎つる家
宮川町(定員50名)



柗家
祇園甲部(定員35名)



炭屋
祇園東(定員30名)



25(日)
20,000円

ウェスティン都ホテル
五花街(定員150名)

※「五花街の夕べ」のチケットは京都伝統伎芸振興財団にて発売しております。ホテルでのチケットのみ京都館(東京八重洲)でも購入いただけます。(各会場定員となり次第締切とさせていただきます)

主催/(公財)京都伝統伎芸振興財団・京都花街組合連合会

後援/京都市・京都市商工会議所(公社)京都市観光協会(公社)京都府観光連盟(公財)京都文化交流コンベンションビューロー
協力/松竹(株)・京都物産出品協会(公社)京都府物産協会・京都市物産懇話会・京阪電気鉄道(株)・阪急電鉄(株)・近畿日本鉄道(株)

お問い合わせ

(公財)京都伝統伎芸振興財団

075-561-3901

都の賑い

第24回 京都五花街合同公演

京都芸術劇場
春秋座 6月24日(土)・25日(日)

午前の部(11時00分～) 午後の部(14時30分～)
特等席:13,000円 1等席:8,000円 2等席:6,000円
*学生は当日午前の部のみ特等席9,000円(若干名)

芸妓舞妓、総勢約80名が集う
絢爛豪華な京の初夏

祇園東

清元「花がたみ」

作詞:永井 素岳 作曲:齋兵衛 振付:藤間 紋寿朗

「花がるた」の十二月を次々とまく詠みこんだ歳旦浄瑠璃で、明治二十六年春に発表されたものです。六月の雨のくだりのクダキが聞きどころにもなっていますが、踊りはやはり歳旦ものらしく明るくのびやかな中にも洒落た趣向を生かして粋な風情を織りこんだものです。

先斗町

長唄「晒女」

作詞:二世 桜田 治助 作曲:四世 杵屋 六三郎 振付:尾上 菊之丞

本名題を「閨姿八景(またここにすがたのはつけい)」と言い、文化10年(1813)6月江戸森田座にて初演されました。七世市川團十郎が近江八景を人物にあてはめて八変化を踊ったうちの一つで、男勝りで大力の娘お兼を描いています。「近江のお兼」としてのタイトル上演が多く、通常はお兼の一人立ちですが、今回は三人の晒女と言う構成で上演致します。

宮川町

清元「六玉川」

作詞:不明 作曲:三世 鳥羽屋 里長 振付:若柳 吉蔵

古歌によまれた、井出の玉川、高野の玉川、野路の玉川、三島の玉川、野田の玉川、調布の玉川を題材にしたもので紀行風に展開されています。道行からはじまり、それぞれの玉川の風情や特徴をうまく詠みこんでいます。本来はお座敷浄瑠璃であり、演奏会用の曲として作曲されたものですが今は舞踊曲として使われています。

上七軒

長唄「俄獅子」

作詞:不詳 作曲:四世 杵屋六三郎 振付:花柳輔太郎

俄とは吉原で八朔から晴天30日間、芸者や町間らが仮装の趣向を凝らして出した踊屋台のことで、この曲は俄の出し物として作られました。現存する獅子物曲最古とされる『相生獅子』の文句をうまく廓に置き換えた洒落や趣向が特徴的で、廓情緒に俄の気分、そして獅子の狂いを組み合わせた粋な曲とされています。

祇園甲部

清元「梅の春」

作詞:四方 真門(毛利元義) 作曲:川口 直カ 振付:二世 井上 八千代
補作:三世 井上 八千代

文政十年(1827)、長藩藩主毛利元義が狂歌の師四方真顔から判者を許された記念に作詞し、吉原芸者川口直に作曲させたと伝えられています。異説もありますが、梅を愛し、梅道家真門、梅趣などとも号した文人藩主と吉原芸者の作とされる、ふさわしい粋で上品な味わいの曲です。江戸隅田川の風物や江戸風俗を座敷舞風に相舞でご覧いただきます。

五花街合同

舞妓の賑い「京小唄」/フィナーレ「祇園小唄」

京の四季の移ろいに、名所や行事の風情が巧みに織り込まれた「京小唄」に合わせ、各花街が独自の流派をご披露します。五花街の舞妓20名が揃い華やかに舞納めます。それぞれの流儀が舞台でひとつに溶け合う、その絶妙な美しさをぜひご堪能ください。

JR/近鉄京都駅より

- 京都市営地下鉄北大路駅下車、市バス乗り換え北大路バスターミナル赤Bのりばより京都市バス204系統、高野・銀閣寺行き乗車「上終町京都造形芸大前」下車(京都駅より約40分)
- もしくは北大路駅3番出口よりタクシー乗車(乗車時間約15分)
- または京都駅前A1バスのりばより市バス5系統、岩倉行「上終町京都造形芸大前」下車(京都駅より約50分)

京阪出町柳駅より

- 京都市バス3系統、上終町・京都造形芸大前行き乗車「上終町京都造形芸大前」下車(出町柳駅より約20分)
- もしくは出町柳駅6番出口よりタクシー乗車(乗車時間約10分)
- 叡山電車乗り換え「茶山」駅下車 徒歩10分

阪急烏丸駅より

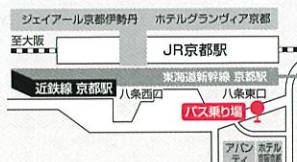
- 京都市営地下鉄北大路駅下車、市バス乗り換え、北大路バスターミナル赤Bのりばより京都市バス204系統、高野・銀閣寺行き乗車「上終町京都造形芸大前」下車(烏丸駅より約40分)
- もしくは北大路駅3番出口よりタクシー乗車(乗車時間約15分)

無料送迎バス(ヤサカ観光バス)

	京都駅八条口 アバンティ前 駐車場 発	京都造形 芸術大学	京都駅八条口 アバンティ前 駐車場 着
行き	9:50	→ 10:30	
帰り		13:40 → 14:20	
行き	13:20	→ 14:00	
帰り		17:10 → 17:50	

*バスが満席の場合はご乗車いただけませんので、あらかじめご了承ください。

*所要時間はあくまで参考としての標準時間です。天候や交通事情により変わりますのでご注意ください。*駐車場はございませんので、お車/バイクのご来場はご遠慮ください。



お問い合わせ

(公財)京都伝統伎芸振興財団

075-561-3901

おおきに財団

検索